

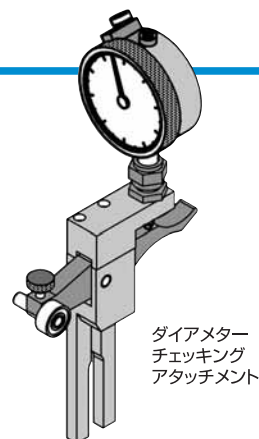
オプションアタッチメント

偏心測定ゲージのオプション(別売)アタッチメントは下記の通りです。
(シャフトチェッカー用は別途となります)

ダイアメーターチェックアタッチメント

#324-10
#325-20
#326-40

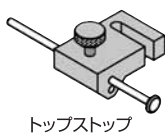
#306-10/#307-20/#308-40アームヨークの代わりに取り付けて3点ローラーで挟んだワーク位置の径、真円度の測定が可能です。



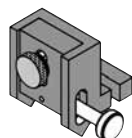
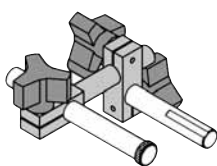
ダイアメーター
チェック
アタッチメント

ワークストッパー

#310-10/#311-20/#311-40 トップストップ
#312-10/#313-20/#314-40 バックストップ
#315-10/#316-20/#317-40 フラットプレートストップ
挟んだワークを後方より支えて位置決めを行うストッパーです。
端面の直角度測定には必ず入用です。



トップストップ

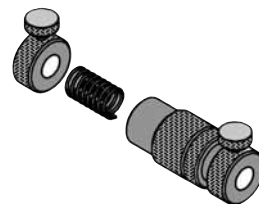


フラットプレートストップ

バックストップ(バックストップのストッパーロッドの先端中央部にUNF4-48のタップ穴がつけられています。)

アジャスタブルロッドストップ

#320-10 10/20型用
#320-40 40型用
標準/サイドインジケータークリアー、バーチカルダイヤルゲージキャリア等の位置微調整と位置決めを行います。

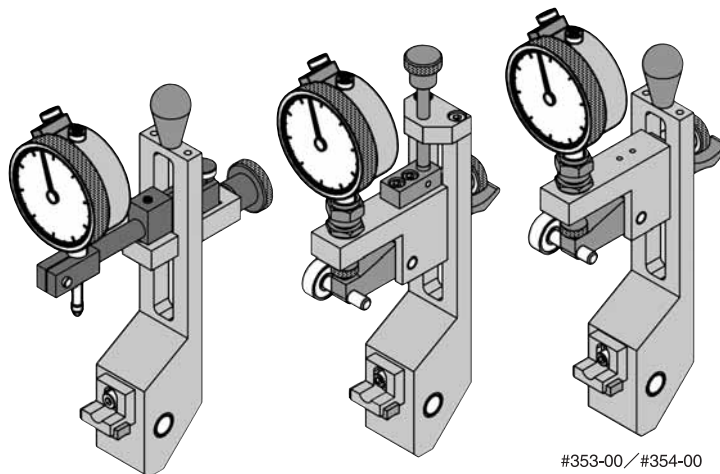


アジャスタブルロッドストップ

バーチカルダイヤルゲージキャリアー

#349-00(10/20型)、#350-00(40型)が標準のキャリアーです。
#351-00(10/20型)、#352-00(40型)はダイヤルゲージ高さの微調整が可能です。
#353-00(10/20型)、#354-00(40型)及び#351-00、#352-00はダイヤルゲージの測定子を直接ワークに当てずローラーを介しますので測定するワークの表面が平らでない場合(スプライン状、ギア形状、ねじ山形状、等)又はワーク表面が丸形状でない(例えば六角形状)場合に使用します。

左側の#349-00(10/20型)、#350-00(40型)がG2・K2・KK2型に装着される標準キャリアーです。



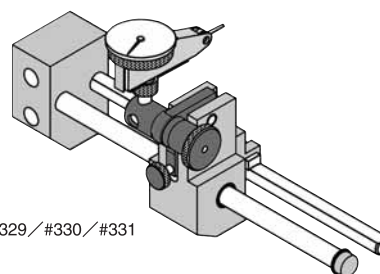
#349-00/#350-00

#351-00/#352-00

#353-00/#354-00

フロントキャリアーアタッチメント

#329-10/#330-20/#331-40
A-10,B-10/20/40型偏心測定ゲージにこのアタッチメントを取り付けるとフロント(手前)側からテストインジケータで2点同時測定が可能となります。



#329/#330/#331